

# あぶたんつうしん

## 小学生が阿武隈大堰にやって来た!!

6月22日、荒浜小と逢隈小の4年生128名が、阿武隈大堰を総合学習で訪れました。

前日に、東北地方南部の梅雨入りが発表されたため、天候が心配されましたが、当日は朝から驚くほどの快晴。気温もぐんぐん上がり、青空の下、大堰での総合学習が始まりました。



### ● 阿武隈大堰を知る

児童たちは2つのグループに分かれ、それぞれ**操作室での学習**と**大堰見学**を行いました。

今から29年前（昭和57年）に完成した阿武隈大堰。以来、かんがい用水として田畑を潤し、工場に水を届けるため、川の水位を一定に保つように堰操作を行って来ました。

操作室内では、大堰の概要や役割、ゲート開閉の仕組みや操作の方法などについて楽しく学びました。「一日の取水量は最大で25mプールで3000杯」など身近なものと比較して説明すると、「へえ〜!」「すごい量だ!」と、より実感してくれたようでした。

説明後の質問タイムでは、たくさんの質問をしてくれた児童たち。予定時間を越えてもなお熱心にメモを取り、しっかり説明に耳を傾けていました。



← 操作室内での様子

### ● 阿武隈大堰を感じる

操作室をあとにし堤防を上がると、梅雨の晴れ間の太陽が阿武隈川をキラキラさせていました。その流れにしっかり根を下ろす阿武隈大堰が姿を現します。

川の対岸を結ぶ長さ750mの管理橋に足を踏み入れ、途中まで渡ると、いよいよ見学の始まりです。

注意事項と説明があり、あらかじめ決められたポイントから川面を見下ろすとゲートが動き出し、堰き止められていた川の水が徐々に流れ始め、ふわりと風を起こしたかと思うと、次第に轟音を響かせ、下流へと流れ去って行きました。

この光景に、手すりに掴まり下を覗きこんでいた児童たちは、一斉に「わあ!」と歓声を上げ、場所を変えて眺めたり、じっくり観察したり、あるいは泳ぐ魚を探したりと、それぞれ思い思いに大堰と触れ合っていました。

最後に、川遊びでの注意を受け、この日の総合学習の時間は終了。満足げな表情で、児童たちは阿武隈大堰を後にして行きました。



阿武隈大堰を見学しに来てみませんか?

きっと、新しい発見があるはずです。

発行

国土交通省 東北地方整備局  
仙台河川国道事務所  
岩沼出張所

岩沼市館下1丁目2番9号  
TEL0223-22-2801  
FAX0223-22-2802

